



# あだっこ

五條市立阿太小学校だより  
平成 29 年 1 月 17 日  
第 27 号

あかるく元気な子 だれにも親切な子 しつかり考える子 ことばを大切にする子



## 短い言葉にあふれる思い…



○東洋大学が募った「現代学生百人一首」の入選作品が発表されました。その一部を紹介します。

- ◎「おはよう」と 声かけられた その日には いつもと違う 景色が見える
- ◎「おはよう」と 君のテノールが 心地よく 響く教室 背筋が伸びる
- ◎寒そうに 「いってらっしゃい」 言う祖母を 思って少し かけ足になる
- ◎ありがとう その言葉は 言えなくて 怒ってごまかす 母との会話



人と人との心をつなげるあいさつの言葉。一言発するごとに、人として大切な心が育っていく。

- ◎あと四年 オリンピックが やってくる クラスの中にも スターの予感
- ◎車椅子 義足で自在に 駆けていく きらめく姿 パラリンピック
- ◎四年後の 東京五輪 日の丸で コートの中か 観客席か



リオデジャネイロ五輪の感動を今度は日本で！ 2020年、その主役はもしかして自分かも。

- ◎文化祭 クラス企画で 連だこを 熊本に向け 思いをつなぐ
- ◎台風来て 電車止まると 期待した 小さい自分に 被害で気づく



今日1月17日は阪神淡路大震災が起こった日。あれから22年。東日本大震災からはまもなく6年。去年は熊本地震や火山の噴火、台風の被害など。「天災は忘れた頃にやってくる」という言葉を忘れずに、日頃の備えを。

- ◎オバマ氏と 被爆者男性 抱き合った 青空の下 平和の誓い
- ◎今は亡き 被爆者の声 聞きつつも 結局僕らは 何をしたのか
- ◎朝起きて 普通の日々を 過ごすこと それも立派な 平和学習



平和な世界を築くために私たちにできること、しなければならないことは何か、一人一人がもう一度考える時。

- ◎目が合った 小さくなった 消しゴムと 言われているよう 「まだやれるだろ」と
- ◎問題が 分からなくても 何か書く チャンスの前髪 つかむ気持ちで
- ◎“もうダメ”と 一度勝負を あきらめた 私一人が 足手まといだ
- ◎目がうつろ 磁石みたいに 眠たくて Sが机で Nがおでこだ



- ◎必死にね 揺れる車窓に しがみつく 子蛙みたいに 強く生きたい

毎日の努力がやがて実を結ぶ。くじけそうになる心に負けないで、自分を信じて自分の道をひたすら歩め。

- ◎おもしろい 友とのメールで 「笑」の文字 それ打つ自分 笑っておらず
- ◎SNS リアルとキャラを 使い分け 本当の私は どこにいるのか
- ◎気がつけば スマホの画面 開いてる おれはなにかに 操作されてる
- ◎演じてる 自分の心と かくれんぼ 誰か私を 見つけてほしい
- ◎ふと思う 僕の居場所 どこだろう その考えは 友達が消す



仮想現実の世界で自分を見失わないで。あなたは、あなたのままでいいんですよ。

○これまで培ってきた言語力とみずみずしい感性を生かして、みなさんも自分の気持ちを短い言葉（五七五の17音や五七五七七の31音）で表してみましよう。